

平成30年度 松坂城跡石垣修理の記録②

【準備工段階】



平成30年10月19日（金）～

足場が設置されていきます。

中を覗きたいという声もありますが、安全面を考えて目の細かいメッシュで覆っています。アクリル板などでは風をまともに受けてしまうのでなかなか難しいようです。

中の様子は、ここで随時公開していきますので、ご理解よろしくをお願いします。

作業の支障となる樹木の枝払いを行い、近くに現場小屋も設置されました。写真は掘削作業の直前です。掘削からは、いよいよ解体工の段階にはいっていきます。

【解体工段階】



平成30年10月22日（月）

石垣天端石の背面で掘削が始まりました。まずは1石分の深さを目指して掘り進みます。

足場の上にいるのは文化財センターの職員です。「このラインで断面図をとりますので、気を付けて丁寧に掘ってください。」と注意を促しています。

石垣解体の掘削をしながら発掘調査も同時進行で行います。



平成30年10月25日（木）

つり下げ作業が慎重かつ迅速に進められています。

石垣の築石が少しずつ解体されていくに従って破損の状況も少しずつ判明していきます。



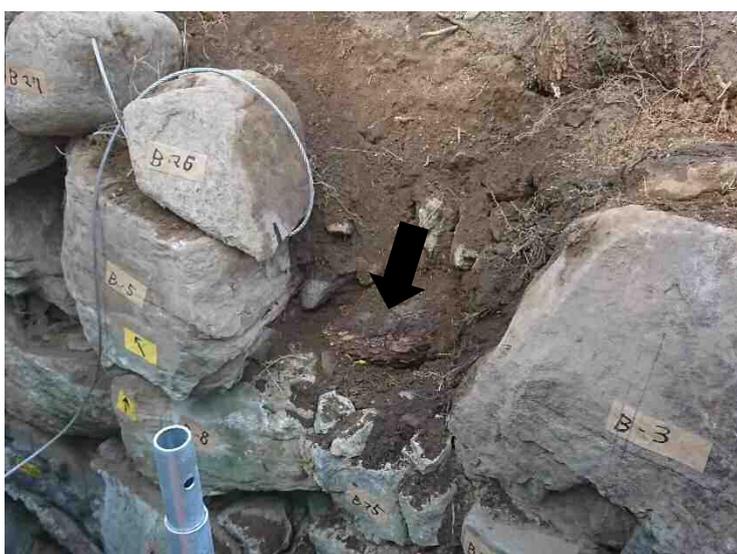
発掘調査でみつかった石組の溝。工事を進める上でどうしても解体する必要があります。整備検討委員会委員と相談する中で、復元ができるだけのデータを残し、解体することになりました。

文化財としての記録を残し、石材には、石垣の築石と同様に墨打ちして 1 石ずつ解体していきます。



石垣の解体を続けると見た目でも飛び出していた築石にたどり着きました。

矢印の先をみると、石のお尻がわずかに引っかかっているだけの状態で、あと数cm押し出されていたら崩れる可能性がありました。



崩落寸前であった築石の裏には、やはり根の姿が。

根の生長で背面土と裏込石が押し出され、築石が飛び出す形になったようです。

(松阪市産業文化部 文化課)